

令和3(2021)年度決算 財務の概要

①貸借対照表の状況

- ・令和3(2021)年度末の「総資産」は18,433,415千円(前年度比で58,963千円の減少)、「総負債」は681,765千円(前年度比で3,137千円の減少)となり、その結果、「純資産」は17,751,650千円(前年度比で55,826千円の減少)となった。
- ・「有形固定資産」については、施設・設備の更新等により177,233千円の増加となったが、減価償却額及び固定資産処分差額の合計295,688千円の計上に伴い、全体では101,911千円の減少となった。
- ・「基本金」については、第1号基本金181,983千円を組み入れたことにより、本年度末の基本金残高は25,350,944千円、未組入高は18,219千円となった。

②資金収支計算書の状況

ア)資金収支計算書

- ・本年度の「資金収入(繰越支払資金除く)」は1,842,324千円となり、前年度比で124,857千円の収入増となった(前年度は1,717,467千円)。
収入全体は増加項目と減少項目によって構成されるが、前年度比での収入の主な増加項目は、東京メディア芸術学部の学年進行に伴う学生数の増加による「学生生徒等納付金収入」92,191千円の増加と、補助金獲得の取り組み強化による「補助金収入」44,500千円の増加である。
なお、私立大学等経常費補助金については前年度比で35,458千円の増加である。
- ・本年度の「資金支出(繰越支払資金除く)」は1,810,370千円となり、前年度比で160,823千円の支出増となった(前年度は1,649,547千円)。
支出全体は増加項目と減少項目によって構成されるが、前年度比での支出の主な増加項目は、「人件費支出」35,220千円の増加と、東京新宿キャンパス1階多目的ホール改修工事・大阪梅田キャンパス換気改善工事の実施による「建物支出」114,749千円の増加である。

以上の結果、当年度の「資金収支差額」は31,953千円の収入超過(前年度は67,920千円の収入超過)となり、「翌年度繰越支払資金」は1,679,859千円、前年度比で31,953千円増となった。

イ)活動区分資金収支計算書

本業である教育活動による「資金収支差額」は、プラス260,932千円となり、前年比で143,455千円のプラスの改善となった(前年度はプラス117,477千円)。

③事業活動収支計算書の状況

- ・本年度の「事業活動収入」は1,803,148千円（前年度は1,675,964千円）となり、前年度比で127,184千円の増加となった。

前年度比での収入の主な増加項目は、東京メディア芸術学部の学年進行に伴う学生数の増加による「学生生徒等納付金収入」92,191千円の増加と、補助金獲得の取り組み強化による

「補助金収入」44,500千円の増加である。なお、私立大学等経常費補助金については前年度比で35,458千円の増加となった。

- ・本年度の「事業活動支出」は1,858,974千円（前年度は1,923,625千円）となり、前年度比で64,651千円の減少となった。

前年度比での支出の主な増加項目は、「人件費」38,309千円（退職給与引当金繰入額を除く）の増加である。

前年度比での支出の主な減少項目は、「管理経費」全体での65,112千円の減少である。

以上の結果、「基本金組入前当年度収支差額」は55,826千円の支出超過（前年度は247,661千円の支出超過）、「当年度収支差額」は237,809千円の支出超過（前年度は247,661千円の支出超過）となり、前年度比で支出超過のマイナス幅が改善された。